

代表機関：藤田医科大学

課題名術後の腱癒着を予防する 吸収性シルクフィブリンゲルの開発

分担機関：農研機構、株式会社チャーリーラボ、株式会社あつまるホールディングス

研究期間：令和6年4月～令和7年3月

研究目的・内容

- 手術後の癒着は外科的治療における重大な合併症であるが、整形外科領域に限っては癒着防止材は上市されていない。
- 我々はシルクフィブリンを原料にしたゲル状の癒着防止材を開発した。
- 本研究では、本製品の癒着防止効果や縫合した腱や皮膚の癒合に悪影響を及ぼさないかを検証する。

今後の展開

- 上記のように癒着防止効果や合併症の検証を行い、数年後の上市を目標とする。製造販売業者を制定し、ライセンスアウトを目指す。
- 適応は整形外科における手術全般を考えている。腱、神経、関節周囲における癒着防止をめざし、QOLの改善を目指す。

クラス分類：IV

医療グレードのシルクが原料

本シルクを応用した医療機器が
米国にてFDA承認手続き中



本開発品

